

アプリックス、 福岡スマートハウスコンソーシアムへ参加

2011年1月6日

株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「アプリックス」)は、大きな成長が期待されるスマートグリッド市場への取り組みとして、福岡スマートハウスコンソーシアムに参画いたしました。このコンソーシアムは、スマートグリッド関連機器やシステム構築を研究開発する企業、大学、及び公益法人が集結しており、アプリックスはこれらの様々な組織と深く連携し、積極的にスマートハウスやスマートメーター等の市場向け製品・技術の開発及び拡販を目指してまいります。

アプリックスは、この実証実験プロジェクトでアプリックスのスマートグリッド向け製品「picoJBlend」^{※1}やM2Mシステム環境製品「WirelessIDEA」^{※2}等の技術を応用し、家庭内の各デバイスとネットワークを仲介するアプリケーションの作成と検証を担当します。「picoJBlend」は米国の電力関連半導体メーカー、「WirelessIDEA」は中国の大手通信事業者や北米の通信モジュールのグローバルメーカーに既に採用されております。

アプリックスは、大きな広がりを見せるスマートグリッド市場において、組み込み向けソリューション「JBlend™」の開発で培った経験をもとに、新製品を開発し拡販することにより、中長期的な収益の拡大を図ってまいります。

※1 「picoJBlend」は、スマートグリッド(次世代送電網)をはじめ、SoC (System-on-a-Chip)、大容量記憶装置(mass storage devices)、ルーター等にも利用可能なM2M(機器間通信)ソリューションです。特にスマートグリッド(次世代送電網)で利用される電力関連半導体に搭載し機器間で通信することにより、エネルギーを有効に利用しコストを削減させ、ネットワークとの親和性を高め信頼性を向上させるなど、社会全体の省エネルギー化だけでなく一般住宅における安心・安全を実現します。

※2 「WirelessIDEA」は、シングルチップの無線機器、低コストのM2Mシステム、及びM2Mシステムで必要になるアプリケーションなどを、効率的に開発してシミュレーションできる開発環境で、開発工期を大幅に短縮できることがその最大の特長です。

■株式会社アプリックスについて

世界中の人々に、より充実した毎日を楽しめるようなソフトウェアテクノロジーを提供する事がアプリックスのミッションです。

アプリックスは、民生用電子機器の組み込みソフトウェア開発の先駆者として、携帯電話やAV機器などを飛躍的に進化させるソフトウェア技術を世界中の機器メーカーに提供してまいりました。アプリケーション実行環境「JBlend」を始めとしたアプリックスのソフトウェアを搭載した携帯電話やAV機器は、世界各国の市場に既に6億台以上出荷されており、さらに毎年1億台以上のペースで増え続けています。

アプリックスは、提供する最新のソフトウェアによって携帯端末メーカーが革新的な機器を生み出し、その機器を使って移動体通信事業者が次世代のサービスを何億人ものユーザーに届けられるよう今後も取り組んでまいります。

- 1986 年設立／1996 年 Java™のライセンス取得／2003 年東証マザーズ上場／2004 年台湾の iaSolution と企業統合／2010 年株式会社ジー・モードがアプリックスグループに参加
- 本社：東京／拠点：那覇、北京、上海、台北、ソウル、シリコンバレー、サンフランシスコ、ボストン、ロンドン

■このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社アプリックス 総務部総務課

03-5286-8436

お問い合わせフォーム <http://www.aplix.co.jp/jp/inq>

※Aplix、JBlend、emblend および Aplix または JBlend に関連する商標およびロゴは、米国、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

※Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。